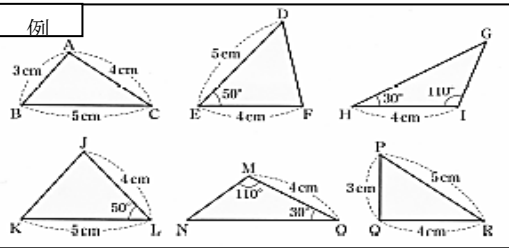
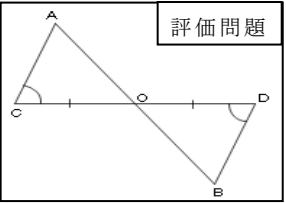



花巻市立湯本中学校第2学年

本時：4章 2節 ②三角形の合同条件（教科書P106）

	学習活動	指導上の留意点○ 評価●
導入 (7分)	<p>「わかる授業」の4「学習課題の把握」の場面</p> <p>2 問題の把握</p> <p>T : 求めることは何ですか。 S₁ : 合同な三角形を見つけることです。 T : どうやって見つけますか。 S₂ : 三角形の合同条件を使います。 T : どれとどれが合同になりそうですか。 S₃ : $\triangle ABC$ と $\triangle PQR$ です。 T : 何故ですか。 S₃ : 3組の辺の長さがそれぞれ等しいからです。</p> <p>導入の問題を参考に結果と方法の見直し</p> 	<p>○ 学習課題の把握</p> <p>2つの三角形が合同であることを、合同条件に当てはめて説明できるようになる。</p>
	<p>「わかる授業」の7「本時の学習を振り返る場面」</p> <p>8 評価問題</p>  <p>○ 他人と相談せず、自力で解く。</p> <p>○ 板書を利用した学習内容、学習過程についての振り返りをする。</p> <p>9 振り返り</p>  <p>今日の授業でわかったこと、できるようになったこと、自分にとって大切だと思ったことは何ですか？</p> <p>S₄ : 合同な三角形について、辺や角に着目して説明することができた。 S₅ : 三角形の合同条件を使ってしっかりと説明できるようになった。 S₆ : 分かっている部分が2つでも、あとは考えて導き出せることが分かった。</p>	<p>○ 他人と相談せず、自力で解く。</p> <p>○ 板書を利用した学習内容、学習過程についての振り返りをする。</p>

Ⅳ おわりに

研究の具体については、岩手県立総合教育センターのWebからダウンロードできます。
(<http://ww1.iwate-ed.jp/>)

研究主題

数学科の 身に付けさせたい力を育てる指導法について —「わかる授業」の具体化を通して—

【研究担当者】 千葉 重徳 鈴木 裕

【この研究に対する問い合わせ先】

TEL 0198-27-2735 FAX 0198-27-3562

E-mail kyouka-r@center.iwate-ed.jp

I はじめに

全国学力・学習状況調査などの結果から、岩手県では中学校数学科の授業改善に向けた取組として、学校教育指導指針に「数学的活動を通じた指導の充実を図ること」を掲げています。特に、

- ・「基礎計算力」の向上を図ること
- ・「数学的な見方や考え方」の育成

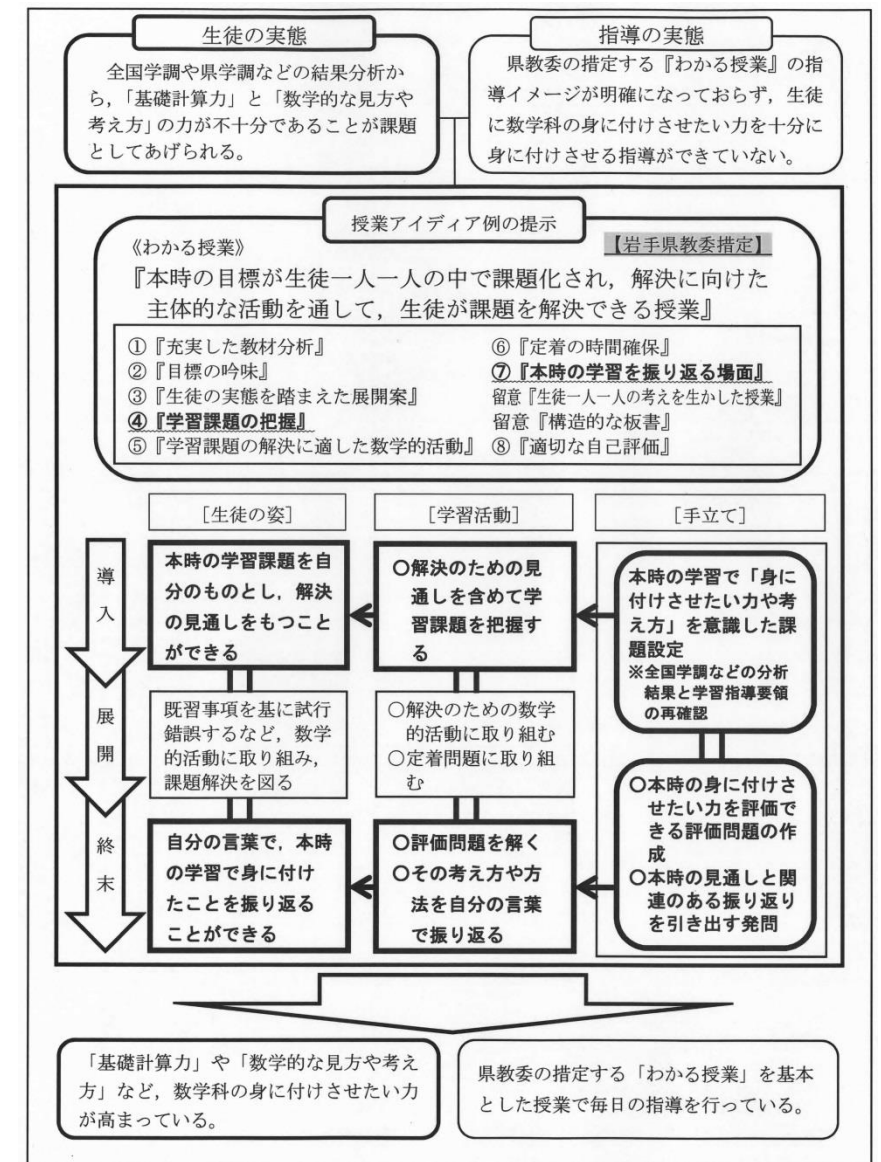
を重視しています。また、これらの力を付けるための手立てとして「わかる授業」を措定し、今年度、その取組を進めてきました。これは、普通の授業として毎日当たり前に行っていた授業スタイルです。

本研究では、「わかる授業」を目指した具体的取組の10項目のうち、

- ・4「学習課題の把握」
- ・7「本時の学習を振り返る場面」

の2点に焦点を当てて進めてきました。先生方に「わかる授業」のイメージをつかんでもらい、その実践を通して生徒たちの力を育成して欲しいと考えています。

「わかる授業」の実践が私たちの授業改善につながり、また、「授業がわかる」という生徒が増えることを期待しています。



数学科の身に付けさせたい力を育てる指導法についての基本構想図

数学科の身に付けさせたい力 = 「基礎計算力」「数学的な見方や考え方」

《わかる授業》 『本時の目標が児童生徒一人一人の中で課題化され、解決に向けた主体的な活動を通して、児童生徒が課題を解決できる授業』 の実践を通して

